

Eさん（身体障害／知的障害・新規就労）

①どんな生活をしたいか考えよう（就労支援課：職業相談）

Eさんは、高校卒業後の就職先がなかなか決まりませんでした。家族と一緒に区役所に相談に行ったところ、リハビリセンターの就労支援課を紹介されました。職業相談を通して自分の生活を振り返り、「就職したい」という気持ちを強く感じました。また、Eさんには「いつかは働きながら一人暮らしをしたい」という希望がありました。就労支援課職員の紹介で、地域の相談支援機関に登録し、ひとり暮らしの準備のため、定期的に相談することとなりました。

②適作業を確認しよう（就労支援課：通所プログラム）

就労支援課で短期間の実習を行い、通えそうだという見通しが持てたところで、通所プログラムを開始しました。軽作業や事務作業など、今まで体験したことのない作業を行い、自分にできる仕事のイメージが、少しずつ持てるようになりました。リハセンターの他部署で書類の配布や入力業務を行い、ビジネスマナーを意識して、緊張しながらも適切な対応ができるようになりました。

③なりたい自分に近づこう（就労支援課：就職活動）

特例子会社での職場実習を行い、そのまま採用が決定しました。相談支援機関の職員とおしゃべりをすると、いろいろな悩みが軽くなるのを感じます。お給料の一部は将来の一人暮らしのために貯金しています。